

民衆の声
ボイス

No.93

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

コロナ感染症対策で187億円の補正 予算が実現しました

国でのコロナ対策第2次補正予算を受け、横浜市会でも約187億円の補正予算が成立しました。

感染の第2波に備えた万全の医療提供体制、横浜経済と市民生活を守る支援、学校再開や「新しい生活様式」の構築へ、集中的な審議を行い施策の充実を図りました。



《今回の定例会で決定した主な施策》

●検査体制を強化

《ドライブスルー PCR 検査を14か所に拡大、身近な診療所および往診による検査も実施。抗原検査を含めた検査費用の無償化。》

●「新しい生活様式」を支援

《中小事業者のテレワークの導入や感染拡大防止のための施設改修、機器購入へ補助金を支給。》

●観光・MICEの回復へ

《市内観光・宿泊の促進へ旅行商品の割引や宿泊クーポンなど、販促プロモーションを実施。》

●生活の困難に寄り添う

《ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給、フードバンクを活用した食料提供、横浜市大学生への授業料減免など、経済的に困窮している方々を支援。自立支援の体制を強化。》

●災害避難所の備蓄を強化

《アルコール消毒液、マスク、簡易間仕切り、段ボールベッド、体温計などを調達。》

●妊産婦の支援を充実

《希望者全員にPCR検査の実施、特定不妊治療費助成の拡充、産後ヘルパーの利用費用の助成など。》

●児童生徒の学びを支援

《全487校に非常勤講師、職員室業務アシスタントなどを追加配置。学校に応じて必要な感染防止資機材を追加購入。》



新型コロナウイルス感染症関連

《横浜市支援メニュー》

◀市民の
皆さまへ

事業者の
皆さまへ ▶



「性犯罪・性暴力対策の強化を求める意見書」を提出へ

佐々木さやか参院議員の国会質問をきっかけに2017年6月に110年ぶりに性犯罪に関する刑法が改正、厳罰化が図られました。

法改正時の附帯決議に定めた見直しの期限を迎えるにあたり、公明党横浜市議団は関係団体からの要望を踏まえ、再犯防止や被害者支援、性暴力根絶に向けて、さらに踏み込んだ措置を求める意見書の提出をリードしました。

横浜市会として7月7日の本会議にて、全会一致で意見書が採択されました。



参院法務委員会で性犯罪の厳罰化を訴える佐々木さやか参院議員(2017年6月)

市民の心身の健康増進へ

6月24日、リニューアルオープンした新横浜スケボー広場を訪問しました。スケートボードが東京2020オリンピック正式種目に採用されたことから、パーク型への改修を行ったのですが、アマチュアプレイヤーから強化選手も集い、「世界有数のパークに劣らないクオリティです」と評価も高く、オープン初日から賑わっています。

市民の健康増進へ、スポーツ環境のさらなる充実に取り組みを進めます。



コロナ禍を超え賑わいの復興へ

6月6日、三浦のぶひろ参院議員とともに横浜・八景島シーパラダイスを訪問し、来場者の感染症対策、休業による雇用や運営への影響について意見交換を行いました。松田心副総支配人より「遠方からの集客が期待できない分、地元や近隣の皆さまに安心して楽しんで頂ける施設にします」と賑わいの復興への決意も伺いました。

効果的な施策展開で、大切な観光産業を支え盛り立てていきます。



横浜の音楽文化を護る

7月2日、一般財団法人横浜JAZZ協会の中川明理事長、ならびに市内でライブハウスを営む株式会社インセクトノイズの梶江茂起代表取締役らと懇談しました。

中川理事長は「1993年から続いている横浜ジャズプロムナードについて、「コロナ下でジャズバンドの練習も十分にできず、これまで通りの開催が困難」と語り、横浜市の一層の支援に期待を寄せました。

また梶江代表取締役からは、公明党市議団の後押しで実現した、コロナ感染拡大により収入が激減した文化芸術団体への給付金支援について「とても有難い」と感謝の言葉を頂きました。西洋文化伝来の地・横浜の文化芸術を、さらに支援し護っていきます。



介護現場を守り、支える

7月7日、三浦のぶひろ参院議員とともに、「コロナ下での介護現場の課題をめぐり、横浜市みなと介護福祉事業協同組合・日高淳理事長との意見交換を行いました。

席上、日高理事長より、公明党の申し入れにより、第2次補正予算に介護従事者への慰労金の支給をはじめ、事業の継続支援などが盛り込まれたことに感謝の言葉を頂きました。また、介護職員の地位向上や地域包括ケアシステムのさらなる充実などの要望も伺いました。



横浜新市庁舎が移転オープン



住所：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
 アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」1C出口直結
 JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩3分

踏切解消で利便性向上



遠山きよひこ議員らと相鉄線高架化事業の進捗を確認

7月3日、遠山きよひこ衆院議員、三浦のぶひろ参院議員とともに、相鉄線・星川駅（保土ヶ谷区）を訪問し、連続立体交差事業の進捗状況を視察しました。

「開かずの踏切」を解消し、地域交通の円滑化を図る同事業は、公明党が政府に働き掛けて実現したもので、1.9キロの高架化で9か所の踏切が解消されました。

遠山議員らは同日、再開発が進む二俣川駅(旭区)も視察しました。



皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。

2020年5月 新しい構成により議会がスタート



■監査委員
高橋 正治（緑区）
●国際・経済・港湾委員会
●大都市行財政制度特別委員会



■政務調査会副会長
安西 英俊（港南区）
●健康福祉・医療委員会副委員長
●郊外部再生・活性化特別委員会
●市会運営委員会理事
●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員



■政務調査会副会長
中島 光徳（戸塚区）
●水道・交通委員会副委員長
●減災対策推進特別委員会



■政務調査会副会長
行田 朝仁（青葉区）
●水道・交通委員会
●基地対策特別委員会
●市会運営委員会副委員長



■政務調査会会長
尾崎 太（鶴見区）
●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会委員長
●大都市行財政制度特別委員会



■副団長
望月 康弘（港北区）
●建築・都市整備・道路委員会副委員長
●新たな都市活力推進特別委員会
●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員



■副団長
斉藤 伸一（保土ヶ谷区）
●こども青少年・教育委員会委員長
●減災対策推進特別委員会



■団長
竹内 康洋（神奈川区）
●政策・総務・財政委員会
●大都市行財政制度特別委員会副委員長



■久保 和弘（瀬谷区）
●国際・経済・港湾委員会
●郊外部再生・活性化特別委員会
●市会運営委員会



■木内 秀一（旭区）
●健康福祉・医療委員会
●減災対策推進特別委員会
●議会広報会議



■竹野内 猛（金沢区）
●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会委員長
●神奈川県内広域水道企業団議会議員



■斎藤 真二（都筑区）
●こども青少年・教育委員会
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会
●神奈川県内広域水道企業団議会議員



■福島 直子（中区）
●市民・文化観光・消防委員会委員長
●新たな都市活力推進特別委員会



■源波 正保（泉区）
●政策・総務・財政委員会副委員長
●基地対策特別委員会



■加藤 広人（磯子区）
●建築・都市整備・道路委員会
●基地対策特別委員会副委員長



■仁田 昌寿（南区）
●市民・文化観光・消防委員会
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会

安全・安心で質の高い昼食を ハマ弁 来春から「給食」に

横浜市立中学校で提供されているデリバリー昼食の「ハマ弁」を、2021年度から学校給食法の「給食」に位置付け、選択制のデリバリー型給食を実施する方針が示されました。

学校給食法による給食に位置付けることで、

- ①実施主体が横浜市となり、責任の所在が明確になることで、今まで以上に安全・安心で質の高い昼食の提供が可能となる。
- ②食材が充実し、保護者負担額は食材費となる。
- ③食育の「生きた食材」として活用される。

などの意義があり、生徒、保護者の皆様に大きなメリットが生じます。

仁田市議は、本年3月に開かれた横浜市会の子ども青少年・教育委員会で、「食材費としての保護者負担を適正化し、負担額を軽減すべき」と主張しました。



公明党横浜市議員団
南区政務調査事務所 所長
横浜市議員

仁田まさとし



仁田まさとし 検索

←メルマガの登録はこちらへ

これまで公明党横浜市議員団は、学校給食法に位置付けられた、選択制のあるデリバリー方式による「横浜型給食」の実施を主張してきました。

横浜市教育委員会の計画では本年9月に事業者を決定し、21年4月に開始できるよう約半年をかけた給食化に向けた準備が始まります。

ヨコハマトリエナーレ2020が開幕 《AFTERGLOW—光の破片をつかまえる》



アリヤーナ・フランクエ《生命軸》2018
Photo By Keita Otsuka

3年に一度開かれる現代アートの国際展であるヨコハマトリエナーレ2020が7月17日(金)より、横浜美術館と近接のプロット48を会場に開催されています。10月11日(日)までの78日間の開催となります。

徹底した感染予防が実施され、いわゆる「3密」回避のため、チケットは日時指定の予約制です。



横浜美術館の外観も作品の一つ
イヴァナ・フランクエ《予期せぬ共鳴》
2020 © Ivana Franké

ヨコハマトリエナーレ2020会場

20 ヨコハマ
トリエンナーレ
20 YOKOHAMA
TRIENNALE
AFTERGLOW